



成田空港南R.C.会長テーマ

例会日時 毎週木曜 12:30点鐘
(最終例会 18:30点鐘)
例会場 中国ダイニング 富士屋

ゆかり
縁

事務局 〒289-1732 千葉県山武郡横芝光町横芝1519-6
TEL 0479-80-1177 FAX 80-1178

URL <http://www.narita-airport-m-rc.jp>
E-mail info@narita-airport-m-rc.jp

第2790地区ガバナー 得居 仁 第6分区ガバナー補佐 小林 信雄

平成24年10月18日発行 NO.2028 第2156例会 会長 石田 喜一 幹事 渡辺 孝文 会報担当 倉石 昌治

例会報告(平成24年10月18日)

点 鐘 会 長 石田喜一
ソ ン グ 「それでこそロータリー」
唱 和 「四つのテスト」
会 長 挨拶 会 長 石田喜一
会 務 報 告 会 長 石田喜一
幹 事 報 告 幹 事 渡辺孝文

プログラム

本日のお客様

ロータリー米山記念奨学会委員会

委員長 平野一隆様

委員 時田清次様

奨学生 ハンセツキ様

各委員会報告

米山奨学生の卓話

会長挨拶



二週間ぶりの例会です。本日はお客様に時田清次様、米山奨学生のハン・セツキ様をお迎えしての例会です。ハン様にはのちほど米山奨学生としての卓話をお願いいたしております。よろしくお願ひします。時田様には、ハン様の付添いとしてお忙しい中をありがとうございます。

留学生を扱うには世話クラブとカウンセラーが指定され、学生との交流・親睦にあたり、国際理解と親睦の実を上げるよう計画されています。なお、ロータリーの入門書米山奨学生は国際ロータリーとは無関係の別法人となっています。1967年に文部省の許可を得て財団法人となり、民間の国際奨学金団体としては日本最大の規模です。ちなみに、米山奨学金の特別寄付は免税の特典があります。

現在、近隣諸国との問題が多いようですが、我々ロータリアンは今年度RI会長のメッセージのように「奉仕を通じて平和を」のテーマを目指して進んでいきたいとおもいます。

週末には地区大会があります。両総観光バスにて、遠くて大変ですが松戸市文化会館までバスでお越し下さい。その中の記念講演が、櫻井よしこ氏の『日本の進路と誇りある国づくり』です。渡辺幹事と先乗りしてお待ち致しております。

4-2半期の予定もプログラム委員の協力が進み、本日例会終了後にこの場にてクラブ管理委員会を予定いたしております。



ロータリーの樹



■ 幹事報告



- ①例会変更のお知らせ（回覧）
 - ・多古RC
- ②会報受領クラブ（回覧）
 - ・多古RC ・成田コスモポリタンRC ・八日市場RC
- ③活動計画書受領クラブ（回覧）
 - ・銚子東RC ・多古RC
- ④ガバナー事務所より会報のお礼のメールが届いております。（回覧）
- ⑤ハイトよねやま151号(2012年10月12日発行)が届いております。（回覧）
- ⑥お知らせ
10/12（金）R情報研究会がおこなわれ花澤会員、鈴木(匡)会員、幹事の3人が出席しました。

■ 委員会報告

◇R情報研究会出席報告

鈴木 匡哉 会員

10月12日（金）に東金商工会館で開催されたロータリー情報研究プログラムに渡辺幹事、花澤会員と一緒に参加させて頂きました。

「職業奉仕に生きること 話し合い 語り合おう」というテーマに基づいて、5～6名ずつ6つのテーブルに分かれてそれぞれ1時間程度話し合いました。私のテーブルでは、ロータリーのテーマである職業奉仕とは、無償で行う社会奉仕ではなく、あくまで対価を貰って行う経済活動を通じての奉仕であるとまとまりました。

職業奉仕という言葉の定義については明確に理解できましたが、一方でそれを実践する事の難しさも実感できました。

自分がこれまで対価を支払って物を買ったりサービ

スを受けたりしたときに、相手のお店や業者さんに心の底から「ありがとう」と思えた経験は数えるほどしかありませんが、逆に言えば確実に何回かはありました。

逆の立場に立って、自分がしてきた仕事人が人からそう感じてもらえていたかと考えると、まだまだ自信はありません。

私の考える職業奉仕の道とは、そのような仕事を1つでも積み重ねていくことだと思いますので、今後のロータリー活動を通じて精進して行ければと思います。

また、他クラブの会員さんとの交流はとても意義があると思われましたので、今後も機会があれば出来るだけ参加させていただきたいと思います。

◇米山記念奨学会委員会

ロータリー米山記念奨学会特別寄付

向後 雅生 会員 （米山功労者 3回目）



時田清次地区ロータリー米山奨学会委員会寄付担当より感謝状の贈呈がありました。



■ 米山奨学生の卓話



米山奨学会奨学生
範雪琦（ハンセツキ）様

成田空港南ロータリークラブの皆様こんにちは。私は範雪奇と申します。今年の4月から1年間野田ロータリークラブでお世話になっております。毎月の昼例会、夏の夜間例会、懇親会で会員様といろいろな会話をして勉強にもなり、楽しい思い出がいっぱいできました。今日は初めて皆様と会うので、私の事について紹介させて頂きたいと思います。

私の出身地は中国の遼寧省盤錦（ばんきん）という町です。皆様は分からない方々は多いと思いますが、何時も皆様が分かりやすいために自分は大連の人と言っていました。今日はきっかけとして、皆様に紹介したいと思います。

盤錦は大連まで車で3時間ぐらいかかります。「遼河」という中国7番目に大きな河が流れています。おかげで水が美味しくて、そしてお米がいちばん有名です。またちょっと今の季節になるとお米の畑から河蟹という蟹がたくさん出てきます。それは毎回思い出すと食べたくなります。

私は幼い頃、世界を回ることが夢でした。2006年高校を卒業して、何時も親の元に生活するのではなく、自分を磨き、視野を広めたいという気持ちで日本へきました。しかし日本に来て、異国の生活に対する不安感や言葉の壁など、自分の想像以上の辛さを実際に感じました。そして物価高い日本で生活の為にお金が必要で、来た1ヶ月後アルバイトをはじめました。最初の頃、言葉が分からなくて、洗い場、築地で配達、ビル清掃などいろんなアルバイトをしました。学校の勉強をしたくてもアルバイトをやらざる得ない経験がありました。もちろん私だけではありません。多くの留学生達が同じ経験があると思います。

でも、私は6年間留学生活の中で、いろんな素敵な方々と出会い、たくさんの事を教えて、助けてもらいました。言葉ができない私にアルバイトを紹介してくれた留学生先輩達。日本語学校で丁寧に私に日本語を教えてくれた小原先生、アルバイト先で話だけでなく漢字や絵などを使って一生懸命私と話した安達店長などなど。大学で初めて私を認めてくれた安原先生、野田ロータリークラブで会員に一人一人親切に私を紹介した駒崎さん。彼達の教えや助けられた事は私にとって一生忘れないと思っています。

9月30日と10月1日 二日間の研修旅行で、ロータリー米山記念奨学事業について深く理解ができるようになりました。地区委員長平野さん方々と身近に会えて、平野さん、織田さん、秋田さんは私たちのために努力している姿を拝見し、感動しております。そして私達奨学生は日本で恵まれた事を母国の家族に伝え、これからもより多くの留学生をロータリー米山の恵を感じさせるように頑張らなければならないと思いました。

学校の生活について話させて頂きたいと思います。私は現在、東京理科大学建築学科4年です。私は建築が大好きで、日本の安藤忠雄建築家の建築に憧れて、何時か彼のような建築家になる事が私の夢です。大学1年時、自分が住む部屋を空間化という課題で、私は普段部屋の中に重みを持つ机、ペットを浮かべるように見えることにしました。今年4年生の作品で、横浜みなとみらいで結婚場を作る課題です。私は結婚式は結婚する彼らの友達や家族だけのイベントより多く人々例えば、偶然にそこを歩いた地域の人、旅に来た観光客なども参加できる施設にしました。この作品は、学年優秀作品にも選ばれて建築学科の本にも載せることになってとても嬉しいです。

現在は「現代小規模集合住宅」をテーマで、「山森邸」など11例、ピックアップした建物の専用部でありながら共有部にも近い性質をもつ空間、「複合領域」と定義し、新たな可能性を示す卒業論文だ。

私は6年間の留学生活の中で今年が一番学業に専念し、勉強から得た喜びが多い年でした。それはロータリアンの皆様の支え（寄付金）があり、本当に心の底から感謝しています。

最後に、研修旅行の時に撮った写真は国籍と関係なく皆さんは素敵な笑顔でした。同じ奨学生のホセさんはいつも「皆は地球に住む人です」、地域委員長平野さんは「国ではなく、人は大事だ」。ロータリーの素晴らしさに感動し、将来世の中に貢献できる能力を身につけていきたいと思っています。



地区ロータリー米山記念奨学会委員
時田 清次様（市原中央RC）

こんにちは。市原中央ロータリークラブの時田です。諸先輩を前にして、米山を語ることは、僭越と思いますが、2790地区米山奨学委員として、皆様にお伝えしなければいけないこととお願いがあります。

それは最近、中国、韓国との間で領土問題について緊張感が高まってきています。この問題は日本人であると同時に、ロータリアンとして平和を考えるいい機会だと考えています。日本のロータリーが誇る米山記念奨学事業は、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために国際親善と世界平和のために当時のロータリアンたちの強い思いで作られたものです。

米山記念奨学事業の使命とは

「将来、日本と世界とを結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動のよき理解者となる人材を育成することです。これはロータリーの目指す「平和と国際理解の推進」そのものです。」

日本に限らず、領土問題などによって民間交流という絆は時に途切れそうになり、また、不信を抱くこともあります。けれども、理解なくして友情は生まれず、友情なくして真の平和はありません。人と人との交流の積み重ねこそが絆を少しずつ強くします。

去年の話ですが、こんなエピソードがあります。尖閣諸島問題で日中両国の緊張が高まる中、中部名古屋みらいRCの一行が北京の米山学友会を訪ねました。しかもこの日は9月18日、満州事変が起きた国辱の日として、中国では最も日本への反発が高まる日でした。

「なぜこのような時期に日本人が中国に来たのか？中国人はなぜ日本人を歓迎できたのか？そこには共通の何が、あったのか？それは「ロータリー精神」でした。

当時の米山学友会会長キグンさんは「ロータリー精神」とは国境を越えて、政治問題を越えて、歴史問題を越えて、将来、必ず宗教と紛争問題をも

越えられる。人類が共有すべき基本的価値観追及する精神です。」と語っています。

このように、どんな困難も乗り越えていかなければ絆は強くなりません。そのためにも米山奨学事業の使命を再確認し、事業を支援していかなければいけないと思っています。

米山奨学事業の理念として

「将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるためには、アジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかありません。それこそ日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業なのです」

この理念のもと、日本のロータリーの創始者たちがつないできた米山記念奨学事業のタスキを私たちが引き継いでいかなければいけません。

米山記念奨学事業を継続していくためには事業収入が必要です。この事業収入の奨学金は、すべてロータリアンの寄付金から成り立っています。2011年度決算では、寄付金収入が1295百万円ありました。それに対して、奨学金と補助金が1404百万円だったため、不足分は、特別積立財産から取り崩して補いました。

しかし、この特別積立財産も取り崩しの最低ラインである25億円になってしまったため、2013年度は奨学生数を800人から700人に減らして事業費を抑えることになっています。また、寄付金は全額奨学事業に使われています。

昨年度の全国平均は14624円でした。最も高かったのは第2590地区（神奈川県横浜市、川崎市）の28924円でした。2790地区は13714円で全国17位でした。

今年度の目標は、普通寄付金4000円と特別寄付金11000円で、1人当たりの年間寄付金合計を15000円とさせていただいています。地区での奨学生を何人採用できるかは、ほぼ寄付金額の全国比で決まります。1人でも多くの奨学生を採用できるように、今年度も目標に向けてご協力をお願いします。

ロータリー米山奨学会は、内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、当会への寄付金には、所得税、法人税の税制優遇処置が受けられます。

来年の確定申告では従来の「所得控除」に加え「税額控除」のどちらか有利な方を選択できます。

1年間で2000円以上の特別寄付をされた方には翌年1月末までに、申告用の領収書と、税額控除に係わる証明書が発行されます。

どれくらいのメリットがあるかの一例として課税所得額750万円の方が、10万円寄付すると、39200円の所得税が還付されます。

奨学生の採用について選考の目安は、

- ①日本語で意思疎通のできる学生及び努力が認められる学生である。面接はすべて日本語で行う。
- ②ロータリー活動に関心を持ち積極的に参加するとともに将来は母国と日本の親善を深めようとする使命感がある。
- ③複数の推薦者がいる場合は、1か国の国籍割合を30%以内とする。
- ④できる限り最終学年を優先し、複数の推薦者がいる場合は学部生の割合を50%以内とする。

また、新しい取り組みとし

「海外応募者対象ロータリー米山記念奨学制度」があります。来日初年度から留学生を支援できる新しい制度で、日本語力を合格条件にしない点が特徴です。

「漢字圏内に偏ることなく、多彩な国地域からの留学生やバラエティーにとんだ研究分野から採用が可能になります。」

当地区では、昨年度までこの制度を採用していませんでしたが、今年度から採用をすることとしました。

日本国内の昨年度実績としては、中東、アフリカ、ヨーロッパの国々からの採用がありました。このような米山奨学事業の使命、実情を理解いただき御寄付のご協力をお願いします。

以上をもって米山委員のお知らせとお願いとさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。



地区ロータリー米山記念奨学会
委員長 平野 一隆 様

委員長の立場から一言頂きました。

■ ニコニコボックス

時田清次様より

…ハンセツキさんの卓話を聴いて下さりありがとうございます
とうございます

土屋俊夫君・小林定雄君・石田喜一君・前川成吉君

・行木英夫君・渡辺孝文君

…時田様、ハン様ようこそいらっしゃいました

本日計	8,000円
累計	336,000円

■ 出席報告



例会日	会員数	出席	MU	%
10月18日	38	25	5	78.95

★ 欠席をしたらメイクアップをしましょう ★

☆ 近隣クラブ例会日 ☆

クラブ名	例会場	例会日時
東金	東金商工会館4F 0475-52-1101	火 12:30~13:30
大原	いすみ市商工会 0470-62-1191	木 12:30~13:30
大網	中部コミュニティセンター 0475-73-3337	水 12:30~13:30
東金ビュー	エストレホテルアンドテニスクラブ 0475-55-1111	木 第2・4週 12:30~13:30 第1・3・5週 19:00~20:00
成田	成田ビューホテル内 0476-32-1111	金 12:30~13:30
銚子	銚子商工会館5F 0479-25-3111	水 12:30~13:30
旭	ヒューマンプラザ黄鶴内 0479-63-0007	金 12:30~13:30 特別例会18:30~20:30
八日市場	千葉興業銀行八日市場 支店 0479-72-1561	火 12:30~13:30
多古	多古町コミュニティプラザ 0479-76-7811	火 12:30~13:30
成田 コスモポリタン	ホテル日航成田内 0476-32-1144	水 12:30~13:30 第5例会 18:30~

国際ロータリー第2790地区 2012-13年度 地区大会

2012年10月21日(日)森のホール21



記念講演
「日本の進路と誇りある国づくり」

講師 ジャーナリスト
(財)国家基本問題研究所理事長
櫻井よしこ氏



コンサート
松戸市立第四中学校吹奏楽部

